

令和4年1月23日
執 行

秦野市長選挙 選挙公報

秦野市選挙管理委員会

秦野を 変える 実現力。

“住んでみよう・住み続けよう”秦野みらいづくりプロジェクト

5つの誓い2022

1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

秦野らしい豊かな自然環境の中で、誰もが健康で生き生きと活躍し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

結婚・妊娠・出産・育児への切れ目ない支援を行い、安心して子育てできる環境を整備するとともに、教育水準の改善・向上や中学校給食の完全実施を中心とした取り組みにより、秦野の未来を担う子どもたちの生きる力を育む教育環境づくりに取り組みます。

3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

「温泉」、「大学」、「まちの中心地、文化歴史」、「表丹沢」など、小田急線4駅それぞれの魅力ある地域資源や特色を生かした、楽しい「まち歩き」の仕掛けづくりなどにより、活力あふれるにぎわい創造に取り組みます。

4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

新東名高速道路の開通を本市発展の絶好の機会と捉え、産業・観光振興の両面から最大活用を図るとともに、国道246号バイパスの早期全線事業化・整備の促進に取り組みます。

5 新たな日常創造プロジェクト

新型コロナウイルスの収束を見据え、市民の「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る3本柱での対策を充実させるとともに、スマート自治体への転換やデジタル化を推進し、「新たな日常」の創造に取り組みます。

自由民主党推薦／公明党推薦／連合神奈川推薦

高橋まさかずプロフィール

■氏名	高橋 昌和(たかはし まさかず)	■職歴	昭和54年4月 秦野市役所採用
■住所	秦野市西大竹134番地		平成14年4月 秦野市企画部企画課長
■生年月日	昭和31年10月18日(65歳)		平成20年4月 秦野市環境産業部長
■学歴	昭和47年3月 秦野市立北中学校卒業 昭和50年3月 神奈川県立厚木高等学校卒業 昭和54年3月 法政大学社会学部社会学科卒業		平成23年4月 秦野市財務部長 平成26年4月 秦野市福祉部長(兼)福祉事務所長 平成29年3月 秦野市役所を定年退職 平成30年1月 秦野市長就任



高橋まさかず

(65歳)

54歳

若き市長と共に

市政一新 決断、実行。

秦野の未来を切り拓く

コロナ禍で苦しむ市民の声に寄り添います

- 4年に1度、1千数百万円が支給されている市長の退職金は返上!
- 市の特別職の報酬削減を! ■朝夕の市長公用車送迎の廃止 ■定年退職延長の廃止
- 抜本的行財政改革で効果低い事業から見直し、廃止
- ➡ 身を切る改革+行財政改革で削減した財源を市民へ還元します

未来を見据えた「はだの成長戦略」を推進します

- 「はだの」を全国区にするためのシティプロモーション
- DX※1を活用した企業変革力、競争力、生産性向上を支援
- 地元雇用を生む企業誘致 ■若者が提案参加できるまちづくり
- 電子地域通貨の活用で家計支援と地域経済循環 ※1デジタルトランスフォーメーション
- ➡ 誰もが憧れわくわくできる良質な生活都市「はだの」を目指します

住みたいまちナンバーワンの実現へ

- 子育てにやさしいまちへ ■中学校給食の改善・充実
- (将来的に)給食費を引き下げ、義務教育の無償化へ
- 学校地域の教育力を上げ、教育先進市の実現を目指す
- 教育現場の裁量で質の高い教育ができる予算確保
- ジェンダーレス制服の推進など、多様性を認め合うまちへ
- 高校3年生までの医療費を無料化へ ■保育機能の充実による待機児童ゼロへ
- 子育て世帯(0歳児)に紙おむつ等の無料支給を
- 高齢者にやさしいまちづくり
- ➡ 誰ひとり取り残さないまち「はだの」を目指します

プロフィール等 次の世代への架け橋へ

1967年秦野生まれ 大根小・中・日大藤沢高校・日本大学法学部政治経済学科・早稲田大学大学院公共経営研究科卒、32年秦野市役所奉職

4才で父が病死し母子家庭で育つ。少年時代はサッカー一筋。地方自治の激動期を乗り越える知識を深めるため、働きながら大学院まで卒業。全国から高い志を目指す民間企業者や国家・地方公務員、国会・地方議員らと切磋琢磨し、地方自治の政策・プロセス面について学び、熱く語り合う。「生活者起点・価値前提」で、現場からの政策づくりにより地域活性化を図る。



さつりっ 伸いち

無所属